



2024. 9. 27

3年 学級通信

13号

道徳「ソーシャル・ビュー 見えない人と楽しむ美術鑑賞」

先日、3年生は道徳で「ソーシャル・ビュー」という教材をしました。

見えない人と絵を見ることを通して、『ソーシャル・ビューから見えてくるのは「助けてあげなきゃ」だけでなく、「何かをいっしょにしよう」という関わり方を通して、共同で何かをするとき、一人一人の違いが生きてくる』ことを学ぶ教材です。

最後に書いた、みなさんの意見を紹介します。

- グループでできることが、おもしろいと感じることができる。
- 想像しあうことで、笑顔になれる。たくさんの人とのかかわりやいろんな経験ができて、みんなが仲良く活動することができる。
- その人とでしか体験できない感覚や接し方などをこれからの自分の考え方や価値観にいかせる。
- 目が見えない人がどんな夢を見るのかが気になった。
- 多様な考え方に触れることで、柔軟な発想ができ、様々な視点から物事を考えられる。
- 様々な想像をすることで、いろいろな発見につなげることができる。
- いろいろな個性を持った人たちがいるから毎日、飽きないで、楽しく生活できる。
- 頭の中で作り上げたものを、ぶち壊すことができる。
- 自分が見えない状態で考えたときは、たくさんのイスを思い浮かべることができた。結果は想像しているイすと違ったけど、楽しかった。
- 今まで自分になかった考え方や伝え方が生まれて、まず素敵だと思った。・・・他人から得るものは、自分だけで得るものより価値があるのではないかな。
- いろいろな考え方ができるようになり、新しい発見をすることができる良さがある。
- 目の見えない障がい者が人に助けてもらう優しさがある。
- 見える人も見えない人も協力し合うことができる良さがある。
- 一人一人が多様な考え方をして、それを言葉にすることで、人とは違う意見が言えて、想像することが楽しくなっていくことが良さだと思う。
- 一人一人の違いによって、不便があるかもしれないけど、違った人間がかかわることで互いに理解しあえたり、語り合えたりする。
- 3人組でしたので、2人目の情報が入ってくると、頭の中で想像していたものにつけ加えて考えることができる。なので、一人一人の考え方の違いが想像をふくらませる。
- 人によって考え方や見方、捉え方が違うのが、自分と違う意見があってよい。
- 自分と他人とじゃ物の教え方も考え方も違うから頭で考えると新しい作品ができる。

- 見える人と見えな人との関係が深まったり、同じように生活できたりすることが良さだと思った。
- 目の見えない人が一人いるだけで、絵がどんなものか詳しく説明しようとするので、説明する力がつくし、その物についてももっと深く知りたいと思えることが良さだと思う。
- これから障害がある人とかかわるときに「いっしょに」という気持ちで関わりたい。
- 一人一人の違いが生きる社会の良さというのは、様々な体を持った人とかかわること
で自分の頭と体からは生まれるはずのない知恵が生まれるということだと思う
- いろいろな見方ができた。

10月の予定

30	月	④全校音楽
1	火	全校評議会 縦割りの歌練習
2	水	⑤全校音楽 フッ素洗口
3	木	縦割りの歌練習 常任委員会
4	金	振替休業日
7	月	全校朝礼（委員長任命） ⑥全校音楽
8	火	第3回学習の診断 縦割りの歌練習
9	水	中間テスト発表 14：15下校
10	木	縦割りの歌練習
11	金	⑤⑥高校説明会（私立・国立）
15	火	縦割りの歌練習
16	水	中間テスト
17	木	中間テスト 縦割りの歌練習
18	金	⑥全校音楽
19	土	授業日 音楽祭準備 弁当
20	日	音楽祭
21	月	振替休業日
22	火	全校朝礼
23	水	フッ素洗口
26	土	たからだ文化祭
27	日	たからだ文化祭
29	水	道徳の日
30	水	午前中短縮授業 ⑤⑥いのちの先生講演会
31	水	全校評議会